

講師 **竹田 照正** 先生

所属

日本歯科東洋医学会 元副会長
日本アライイング歯科学会 理事
BDORT協会 会員

抄録

手探りのバイコントロール
歯科臨床における漢方治療
無疹性ヘルペスと漢方・針灸治療
末梢性顔面神経麻痺の診断と治療
皮膚への薬剤分子情報転送法とX-Y軸治療
舌痛症の診断と治療
日常生活における気の活用法

昭和20年 生まれ
昭和46年3月 九州歯科大学 卒業
昭和46年～47年 神奈川県藤沢市川南歯科勤務
昭和47年～48年 九州大学歯学部第1補綴科勤務
昭和48年～52年 福岡地区病院歯科口腔外科勤務
昭和52年2月～ 福岡市博多区祇園町にて竹田歯科クリニック開業
現在に至る

セミナー内容

- ・Bi-Digital O-RingTest法
- ・赤色LEDライトによる薬剤分子情報転送法
- ・気の効果とイメージ診断法
- ・嘔吐反射抑制法
- ・首肩こりのリリース法
- ・眼精疲労の改善法
- ・口腔内と全身の各臓器代表領域
- ・唾液湧出増加法
- ・痛みや麻痺の対処法
- ・加齢と脳幹・前頭前野

対象 歯科医師・スタッフ

定員 30名 定員に満たない場合は、開催を中止する場合がございますので予めご了承下さい。

日時 2016年7月10日(日)10:00～13:00

会場 かんぽの宿 3F 会議室
(大分県別府市鶴見457・TEL0977-66-1271)

受講料 歯科医師 1名様 8,000円(税込)
スタッフ 1名様 5,000円(税込)

主催 株式会社 松井商会 担当: 舞 浩典
大分県別府市千代町4-2
TEL:0977-22-4045 FAX:0977-23-3226

お申込方法 下記申込書にご記入後、FAX(0977-23-3226)にてお申込下さい。
または、担当の営業のものにお渡し下さい。

西洋医学の診断や治療技術は、ME機器の発達と共に飛躍的な進歩を遂げています。そうした中であって、なかなか期待した効果が得られにくい疾患があります。それは、脳神経や脊髄神経、自律神経系の神経性疾患です。神経性疾患は、肉眼的な画像診断や血液検査でも異常所見として捉えにくいために、対症療法になりがちです。三叉神経痛、舌痛症、顎関節症、顔面神経麻痺、神経障害性疼痛、帯状疱疹後神経痛、不定型顔面痛、下歯槽神経麻痺等に対してボルタレンのような鎮痛剤やテグレトール、トリプタノール、リリカなどの薬剤投与だけでは充分とはいえません。このような疾患の痛みや麻痺に対して、針灸や漢方等の東洋医学治療が大変効果的です。歯科医は、毎日のように痛みと向き合っている治療してあります。咬合痛、知覚過敏、開口痛、術後の不定愁訴等のありふれた症状についても改善できる手法が東洋医学には数多くあります。

症例を通して、その具体的な方法についてお話をしたいと思います。また、人は加齢とともに歯周病や口腔乾燥症、味覚麻痺、口腔ディスプレイスキネジア等がみられます。東洋医学のアンチエイジングの病理観を知ると歯科臨床が新鮮にみえます。歯科医に多い眼精疲労、肩こり、腰痛等も日常生活の中に「気」を活用すると自分の力で改善が図れます。

2016年
7月10日(日)
大分開催

歯科臨床で簡単にできる

東洋医学活用法セミナー

デモ有り!

大分開催 2016年7月10日(日) 東洋医学活用法セミナーお申込書

(FAX 0977-23-3226)

ふりがな 氏名	受講者人数	歯科医師 スタッフ	名 名
歯科医院名			
歯科医院 ご住所	〒	TEL	FAX
E-mail			担当者名